

東近江市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 ■放課後子ども教室 ■土曜日の教育支援

■ 目指す姿

東近江市では、市内全ての小中学校に地域学校協働活動本部を設置し、保護者や地域住民、関係団体等の幅広い参画のもと、地域と学校が連携・協働した取組を推進している。これにより、地域全体で子どもたちの健やかで心豊かな成長を支えとともに、学校を核とした人と人のつながりを深め、地域の教育力の向上及び持続可能な地域づくり・地方創生につながる活動の充実を図っていく。



【 本部長・推進員合同連絡会 】

■ 本年度の具体的活動

- ・本部長及び地域学校協働活動推進員合同連絡会の開催（4月・1月）
- ・「地域力強化プラン」に係る運営委員会の開催（5月・9月・2月）
- ・地域学校協働活動推進員連絡会の開催（6月・9月・11月・3月）
 - （1）各本部における取組の報告、情報交換、質疑応答
 - （2）県研修等の報告

■ 本年度の力点

- ・地域学校協働活動推進員連絡会では、本部からの報告に加え、例年は中学校区単位での情報交換を行ってきた。今年度は中学校区の枠を越えた交流の場を新たに設けたことにより、他地区の活動に関する成果や課題を相互に共有することができ、横のつながりの強化につながった。
- ・放課後子ども教室は昨年より1教室増え、12教室の実施となった。また、夏休み期間には他地区の放課後子ども教室同士が交流するプログラムが実施されるなど内容が充実してきた。これらの成果を連絡会等で紹介することで次年度のさらなる展開を期待している。
- ・東近江市においては、中学生の放課後の居場所の確保が課題となっている。その解決に向けて地域学校協働活動推進員と中学校が連携・協議し、「地域未来塾」の実施を目指して準備を進める地区が生まれてきた。この取組を市全体へと広げていきたい。
- ・コミュニティ・スクールの更なる推進のため、市内学校運営協議会の会長交流会を開催した。本会議には、滋賀県 CS アドバイザー松田幸夫氏を講師として招き、コミュニティ・スクールについての研修を実施した。
- ・各校のボランティア会議等で活用できるよう、各本部の活動をまとめた東近江市地域学校協働本部実践事例リーフレットを作成した。

■ 課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

- ・各地域の特色を活かして、持続可能な活動を支援し推進していく。
- ・地域学校協働活動推進員及び地域ボランティア等の人材確保が必要である。
- ・学校と地域学校協働活動推進員との連携体制を支援していく。
- ・各地域、各校の状況に応じた形でのコミュニティ・スクールの導入を推進していく。

■ 地域学校協働活動推進員の委嘱状況

- ・平成 30 年度から教育委員会委嘱で市内全小中学校に配置（令和7年度：32名）



【 推進員連絡会での情報交換 】

■ 域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

- ・令和7年度 市内小学校5校・中学校2校で実施